

東松島市医師団リレートーク 第14回

～医療現場のドクターからのメッセージ～



今回の医師団リレートークは、鳴瀬中央医院 齋藤雄康院長にお話しいただきました。同院は知る人ぞ知る代々続く医者の家系であり、数百年にわたり地域への医療提供を行ってきた歴史があります。

齋藤院長が掲げる地域密着型医療に関するお話は、このルーツを背景とし、地域の変化やニーズを満たす手段として練り上げられたとても興味深いものでした。



鳴瀬中央医院

齋藤雄康院長

■診療科 内科・腎臓内科・専門内科・外科・整形外科

受付時間	月	火	水	木	金	土
8:45～11:30	○	○	○	○	○	○
13:45～17:30	○	○	○	△	△	△

※診日3、祝日



東松島市牛瀬新上江戸原81-1



齋藤先生からの健康基礎クイズ

(○×で解答)

1. これからの地域医療には、加齢による認知症などの増加が予想される。
2. 認知症は脳の病気なので、人格が変わることもある。
3. 認知症は完治しない「脳の病気」なので、ご家族、ご近所、地域全体がこの病気を理解する枠組みが必要だ。

正解者には抽選で、お礼券と利用券3枚セットを3人の方にプレゼントします。応募方法については質問受付欄を参照いただき「健康基礎クイズプレゼント係」と明記ください。

※健康基礎クイズには株式会社コスモスポーツ様から協賛をいただいています。今後も健康に関する重要情報をクイズ方式で出題し、知識の定着を目指します。また、協賛企業の募集は随時行っていますので、問い合わせは下記までお願いします。

佐藤先生からの健康基礎クイズの正解は

1. 血圧は高くても健康に影響はない→×
 2. しよばいものを食べても血圧には影響しない→×
 3. がん検診は毎年受ける必要はない→×
- 正解者の中から、三浦清政さん(あおい)、西村初久さん(小松)、山内祥子さん(赤井)の3人にゆびと利用券3枚セットを贈呈してプレゼントします。

■開業480年以上の歴史

鳴瀬中央医院は、祖父、父、私と三代が皆さまに記憶いただいておりますが、医者として開業した初代(小池道憲)大塩村)から数えて私で十六代目、その全員が医者という家系です。七代目に当たる小池春養が牛瀬村に出張診療を始めたのが1731年(享保16年)ですから、牛瀬地区とのお付き合いは今年で約290年となります。祖父や父の代から、

不可能な状態となりまして「もう一度この場所を再開できるのか」と私をはじめ皆が果敢とする中、父だけはやれないはずがない「と自信ありげに見えました。その姿に励まされ何とか診療を再開することができました。再開後、閉院した医療機関が抱っていた子供からお年寄りまでの診療分野が当地域には極めて重要であることを再認識し、これらの領域を網羅しようという決心を決めました。

■認知症と診断されたら
専門医療機関で認知症と診断されたらまずご家族が認知症とはどういう病気かを知り、患者さんの状態を正しく知ること、これが病気の進行を遅らせる特効薬と言えます。基本的に認知症は脳の病気なので、人格が変わったり、怒りっぽくなったり、怒りは本人の苦しみの現れの場合が多く、その苦しみを解消すると怒りが和らぎます。手間と時間はかかりますが、苦しんでいる患者さんをご家族、ご近所の方々、地域全体で見守り、深く理解する枠組みがこの病気には必要不可欠です。

■医療による地域社会の再構築を目指して
震災後は人口減少や、少子高齢化など、地域社会の存続を危ぶむ情報が多く出回っています。このような中だからこそ、薄れつつある人と人のつながりを医療の面からつなぎ直すことが、私たちに課せられた使命とも思っています。この「つながり」や、「支えあい」に対して一定の価値を付加していくと、地域社会を維持し得る新たな社会制度になりうると思います。

■震災以降に守備範囲を拡大

震災は私の考え方を一変させました。当院にも津波が押し寄せ、医院は診療

■変化する地域ニーズ

震災後の鳴瀬地区は、浜市や牛瀬の沿岸部から内陸部への移転がなされ、物理的にも大きく変化しました。ただし住民同士がある程度顔見知りだったのでコミュニティの再構成は比較的スムーズだったと思います。

■認知症サポート医として

認知症サポート医は、専門医療機関とともに、認知症患者が通院する「かかりつけ医」に対し

■今後地域における当院の役割を正しく把握し

ながら、ニーズにあった医療提供に努めて参ります。

本コーナーでは、皆さんの知りたい医療に関する情報を募集します。例えば、血圧が高いと健康によくない理由を教えてくださいなど、関心のある分野で結構です。いただいた質問は、専門の先生が登場する回に紙面で紹介し、回答します。「健康基礎クイズ」の答えと先生への質問を記入のうえ、はがき、ファックス、電子メールにて下記までお願いします。

■住所 東松島市矢本字上戸36-1 東松島市保健福祉部健康推進課 電話0225-82-1244 ✉ kenko@city.higashimatsushima.miyagi.jp

■問 健康推進課健康支援班 ☎内線3101